



介護の現場から



私は、7年間登録ヘルパーをして、1年半有料老人ホームで勤め、今、ケアマネの仕事をして8ヶ月になります。そんな私にも「母の介護」が訪れてきました。今、母は81歳になり大阪市内で一人暮らしをしています。幸い、週1回のストレッチ体操に行ったり、友達とランチに行ったりして元気に過ごしてきましたが、昨年末、めまいを起こして倒れました。慌てて母の家に飛んで行き、病院で検査を受けても原因がはっきりせず、脳の異常も見当たりませんでした。

医者が、ストレスが原因ということもあると言った時、私は、気丈に見える母でも一人暮らしでストレスが溜まっていたのではないかと考えさせられました。今まで、自分のことに精いっぱい、母のことはあまり気かけなかったことを反省させられ、同時に「娘にも家族があるので、1日でも長く娘の世話にならないようにしたい」と言った利用者さんの言葉が、何故か、急に浮かんできました。母も父が亡くなってからの18年間、私に迷惑をかけまいと一人で気丈に耐えてきたに違いありません。あれ以降、私は毎日、安否確認をするようになり、これからは母と一緒に出かけたりして、元気なうちからしっかりと「介護」していきたいと思えます。

(岸本由利・ケアマネージャー)

5月のスケジュール

- 1日 喫茶外出 (GH)
- 5日 菖蒲湯 (成合デイ)
- 7日 買い物 (GH)
- 8日 誕生日会 (GH)
- 9日 マジックショー (西町デイ)
- 10日 朝市えがお (成合デイ・GH)
- 12日 誕生日会 (成合デイ)
- 13日 誕生日会 (西町デイ)
- 14日 創作おやつ (GH)
- 16日 友遊サロン (GH)
- 22日 避難訓練 (西町デイ)
- ボランティアギター演奏 (GH)
- 29日 おやつバイキング (西町デイ)
- お風呂の日 (GH)
- 毎週月曜日 ヘルパー会議
- 第3週火曜日 ヘルパー研修会

2014年
5
月号

高槻市西町8番7号
電話072-695-2914



- 【発行】
- ◆デイサービスセンター共生の里
 - ◆共生の里・成合デイサービス
 - ◆共生の里ヘルパーステーション
 - ◆なすなケアプラザセンター
 - ◆共生の家
 - ◆グループホーム共生の里

独善を捨てよう

ある生協のチラシを見て違和感を持った。国内産の小麦粉を使った商品の宣伝だったが、「国内産の小麦粉が不足している。外国産は安心できないのでコストが高くても国内産を使います」という趣旨だった。ところが、ある日、同じ生協のチラシを見ると「国産の小麦粉が手に入らなくなったので外国産を使います。私たちが管理しているので安心」という。あらら？では何故、もっと早く生協が管理して「安心」で安い小麦粉を消費者に届けなかったのだろうかと思うと、忽ち、この生協が信頼できなくなった。



<春風に誘われて>

よく考えれば、世界中「危険な生産者」や「安心な生産者」は、どの国にでもいる。なのに、生協=消費者の味方、日本産=安心という「独善」が、この生協の本質（不安掻き立て商法）を見抜けなくしていたと思う。

他にも、「日本が正しい」「日本が一番」というような「独善」が、昨今の韓国や中国に対する日本人の「嫌韓」「嫌中」感情をもたらしていないだろうか。独善を捨てて、もう一度社会を見て見よう。

